



学校だより

(1月号) 令和5年1月6日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

【学校の教育目標】

- ◎ 夢 (ゆめ) にむかって ともに学びあう学校
 - ・すすんで勉強する子
 - ・自分からあいさつのできる子
 - ・仲よくたすけあう子
 - ・じょうぶな子

《今月の生活目標》 感謝して 給食を食べよう

Well-being (幸福・健康) とは

～天国と地獄の長い箸の話～

校長 白石 徳一郎

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ますますご健勝にて、よい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、Well-being (ウェルビーイング) という言葉を聞いたことがありますでしょうか？意味は幸福・健康といったことになるそうですが、働き方改革が進む中、注目を集めている概念の一つで、**労働者の健康やワークライフバランス (仕事と生活のバランス) を整えるために重要な要素**であるという認識が広まりつつあるようです。5年連続で幸福度世界1位のフィンランドについて書かれた「フィンランド人はなぜ午後4時に仕事が終わるのか」(ポプラ新書 堀内都喜子 著)によると、フィンランド人はウェルビーイングという言葉をよく使い、重視しているそうです。**ウェルビーイングとは、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念**で、幸福という言葉で説明されることもあります。うれしい、楽しいといった心理状態というよりは、**心身共に健やかな状態にいることを指す**そうです。

これは、職場だけでなく、社会の様々なコミュニティにも当てはまる今日的課題であるように思います。Well-beingについて考える時、個人と集団の両面が重要だと思います。一人ひとりが時間的・精神的ゆとりや自由度、権利の保障を求めることは大切ですが、一人ひとりが自分本位で生活できれば幸福になれるかというところではないように思います。自己中心的になりすぎると、集団としての絆は弱まり、余力や余裕が削られ、結局、幸福にはなれないような気がします。**社会でも組織でも、皆さんがボランティア精神・サービス精神をもち、小さな親切や思いやり、助け合い、感謝などを大切にして、円滑な人間関係を構築し、温かい集団があってこそ、お互いに幸福を感じることができるよう**に思います。

校長講話で子ども達に話した「天国と地獄の長い箸」という話を紹介します。世界には似た話がいくつかあるようなので、私が知っているお話ということでご了解ください。

昔、天国と地獄を見てきた男の人がいました。その人は、まず地獄の様子を見てきました。地獄は悪い人が死んだあとに行く世界です。覗いてみると、テーブルの上にたくさんのごちそうが並んでいます。でも、地獄の人はテーブルの上のごちそうを食べられなくて、みんな痩せています。食べようと思っても、うまく食べられないのです。地獄では、食事をする時には、長いお箸を使うように神様に決められていたからです。手よりもお箸が長いので、ご馳走をつまんで、口に運ぼうと思っても、うまく口に入りません。目の前にごちそうがあるのに、みんなうまく食べられなくて、痩せていたのです。

男の人は、次に、天国の様子を見てきました。天国でも、テーブルにたくさんのごちそうが並んでいます。そして、驚いたことに天国の人も地獄の人と同じ長いお箸で食事をしていました。でも、天国の人たちは、みんなおいしそうにごちそうを食べています。みなさんは、どうしてか わかりますか？

天国の人は、長いお箸でご馳走を取ると、自分で食べるのではなく向かいに座っている人に食べさせてあげていたのです。すると、向かいに座っている人も長いお箸でご馳走を食べさせてくれていました。

こうして天国の人は、地獄の人と同じ長いお箸でも「はい、どうぞ」と相手に食べさせて、相手も「はい、どうぞ」とお返しをして、ご馳走を食べていたのです。

この話は親切にしたりされたりすることの大切さを教えてくれているように思います。友達、家族、地域と、みんなが親切にしたりされたりする世界は、天国に近いのでは？と思います。

以前にもご紹介いたしましたが、「ハーバード大学成人発達研究」によると、「**良い人間関係が私たちの幸福と健康を高めしてくれる**」ことがわかったそうです。Well-beingに大切なことは、**良い人間関係であり、良い人間関係を作ることを一番に考える**といいのではないかと思います。

今も昔も子育てには親御さんの価値観が大きく影響することは当然であり、基本的な人付き合いや折り合いの付け方、物の考え方については家庭教育で育まれる所が大きいと思います。一方で、価値観が多様化し、ご家庭によって様々な教育方針も見られます。子どもが混乱しないためにも、今まで以上に学校とご家庭が共通理解・共通指導を行っていく必要を感じます。**子どものうちは、「誰とでも仲良くする」といった協調性を高める指導も重要です**。気の合う人とだけ仲良くするとか、考えが合わない人は無視をするといった極端な育て方は、子どもの健全な成長の妨げになりかねないと思いますので、道徳・倫理に照らした「徳」を重んじる教育をしていく大切さもご確認させていただきたく存じます。

学校 (児童・教職員)、保護者・PTA、地域 (育成会、ボランティア、チャレンジ等) など、子ども達を取り巻くコミュニティで、益々、良い人間関係が構築され、皆様にとってWell-being (身体的、精神的、社会的に良好な状態、心身共に健やかな状態) の一年となりますようにご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

